

氏名	中 島 智 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3700 号
学位授与の日付	平成 14 年 3 月 25 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Random amplified polymorphic DNA analysis applied to acute otitis media caused by penicillin non-susceptible <i>Streptococcus pneumoniae</i> (急性中耳炎の原因となったペニシリン非感受性肺炎球菌の RAP D 解析)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 徳永 勲 教授 山田 雅夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

急性中耳炎のリスクファクターである集団保育とペニシリン非感受性肺炎球菌 (PNSSP) による急性中耳炎感染の関連について報告した。

特定の保育園で同時期に発生した、7 人の急性中耳炎の児から採取した PNSSP の血清型、薬剤の MIC、RAPD による遺伝子型を調べ、同一の PNSSP が原因となっているかどうかを検討した。

7 株は少なくとも 3 種類に分類された。兄弟例 2 例からの株は、同じ血清型、薬剤の MIC、類似した RAPD パターンを示した。

同時期に発生した急性中耳炎例であるが、全てに同一菌が原因となっているとは考えられなかった。遺伝子型の類似する菌は、鼻咽腔常在菌の段階では共通の菌に由来していた可能性が示唆された。RAPD 解析は、キットを用いた確かなプライマーを選択しシークエンサーを用いることで、より再現性が高まることがブートストラップ解析で証明された。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、特定の保育園で同時期に発生した 7 人の急性中耳炎の児から採取したペニシリン非感受性肺炎球菌 (PNSSP) の血清型、各種薬剤に対する MIC、random amplified polymorphic DNA (RAPD) による遺伝子型を調べたものである。RAPD は簡便な手法であるが、的確なプライマーを選択し、自動シークエンサーを用いると、PNSSP の分子疫学に再現性良く利用出来ることを示した価値ある業績であるので、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。